

情報処理技能 検定試験 表計算

入力データを元に表を作成し、さらに処理条件に従ってグラフなどを作成する技能を問う試験です。

◆検定試験のねらい

表計算ソフトの利用を通じて、情報処理能力を身につけることを目的として実施。

表計算ソフトを使い、複雑な数式処理やグラフ作成などができるようになります。



◆試験実施日(年4回)

- ① 7月第2日曜日 ② 10月第2日曜日 ③ 12月第2日曜日 ④ 2月第4日曜日

●試験日は届出により前後10日間の移動が可能です。

◆試験会場

本協会指定会場

- 申し込みのあった各大学、各学校および教室が試験会場校となります。ただし、原則として受験者が10名以上であることを要します。

◆受験料

初段	1級	2級	3級	4級
5,000円	3,000円	2,500円	2,000円	1,500円

◆試験基準

◎出題基準・試験時間は下記の表のとおりとする。

級・段	出題内容	試験時間
4級	<ul style="list-style-type: none"> ○文字・数字の入力 ○列幅変更 ○計算式 ○合計・平均関数 ○罫線処理 ○表示形式(数字・数値の3桁ごとのコンマ・小数点など) ○%表示 ○表題・見出しの中央揃え ○文字列の左揃え・数字の右揃え ○印刷処理 	20分
3級	<ul style="list-style-type: none"> ○4級基準を含む ○判断文 ○絶対参照 ○構成比率の計算 ○最大値・最小値の検索(MAX・MIN) ○端数処理関数(切り捨て・切り上げ・四捨五入など) ○順位付け(RANK) ○通貨表示(¥・\$) ○日付表示 ○多重判断文(入れ子(ネスト)) ○並べ替え(ソート) 	30分
2級	<ul style="list-style-type: none"> ○3級基準を含む ○表検索(VLOOKUPなど) ○論理演算子(AND・OR) ○日付・時刻の計算 ○グラフ作成 ○セルの証明(セルの文字列化の印刷、2級のみ) 	30分
1級	<ul style="list-style-type: none"> ○2級基準を含む ○文字列操作関数(LEFT・RIGHT・CONCATENATEなど) ○特殊関数(ABSなど) ○データベース関数 ○抽出および抽出後のデータ処理(合計・平均・ソートなど) ○数式印刷または結果データの保存 	30分
初段	<ul style="list-style-type: none"> ○1級基準を含む ○シート間の処理 ○高度なグラフ ○複数のグラフ ○その他応用 	30分

※“セルの文字列化の印刷”とは、証明セルを同列の他のセル(完成した表の下)にコピー、貼り付けし、セル内容の先頭にシグナルコーデーション'を付け、文字列とし、それを表とともに印刷する。

※1級以上の数式印刷(困難・複雑含む)がない場合は、結果データの保存をする。

☆問題に使用している会社、組織、製品、人物、キャラクタ、データなどの名称は架空のものです。実在する商品名、団体名、個人名などとは一切関係ありません。

処理条件に従って計算処理・関数処理・グラフの作成を行います。

問題

平成●●年度 第△△回 情報処理技能検定試験 (S P) 2級問題

＜問題＞
下記の入力データにより、＜処理条件＞に従って表およびグラフを作成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとのコンマを付けること。
2. 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
印刷範囲は全ページとする。ただし、印刷は印刷範囲とする。

入力データ

CO	社員名	従業員数	査定	標準報酬月額	等級	等級	基本給
101	山田 一郎	2	75	410,000	2	1	347,000
102	鈴木 浩吉	1	95	440,000	1	2	322,000
103	佐々木 隆	1	55	320,000	4	3	280,000
104	長島 聖夫	2	85	410,000	2	4	258,000
105	小島 高樹	3	95	470,000	1	1	410,000
106	野村 誠一	2	65	380,000	2	1	360,000
107	森 加治子	0	70	300,000	4	1	250,000以下かつ70,000以上
108	加藤 達也	1	90	360,000	3	1	322,000以下かつ50,000以上
それ以外							

処理条件

＜処理条件＞
1. ＜出力形式1＞のような給料データ計算表を作成しなさい。(――の部分は空白とする)
2. 扶養手当＝扶養数×16,000 勤続手当＝査定×870
標準報酬月額＝標準報酬月額×0.644
年金保険料＝標準報酬月額×6.0000 (整数を繰り越す)
社会保険料＝標準報酬月額×年率保険料
3. 合計を求めなさい。
4. ＜出力形式2＞のような給料一覧表を作成しなさい。(――の部分は空白とする)
5. 基本給は＜基本給テーブル＞を参照し、求めなさい。
6. 扶養手当・勤続手当・社会保険料は、給料データ計算表を参照しなさい。
7. 勤続手当＝基本給×扶養手当×勤続手当
差引支給額＝勤続手当－社会保険料
8. 詳細な＜詳細表＞を参照し、求めなさい。
9. 合計を求めなさい。
10. 差引支給額の多い順に並べ替えなさい。
11. 算術の入力と印刷を状態する。(外枠は印刷する)
12. 給料一覧表の基本給と詳細を印刷しなさい。
13. 給料一覧表の差引支給額を社員名別の階層グラフにしなさい。
タイトルは“社員別の差引支給額”とし、凡例は“差引支給額”とする。

＜出力形式1＞

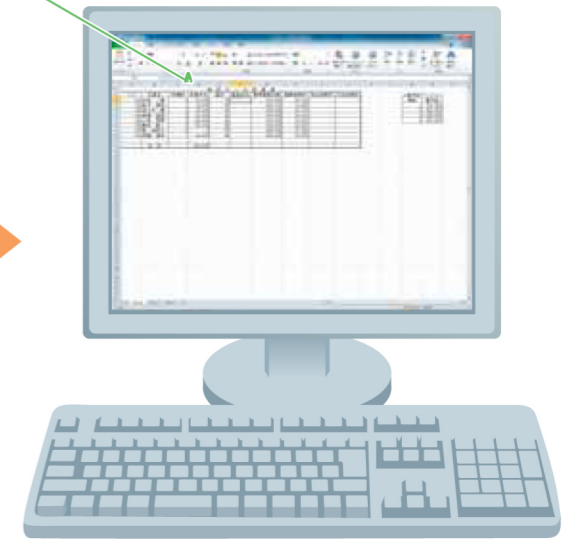
給料データ計算表							
CO	社員名	従業員数	査定	標準報酬月額	標準報酬月額	年金保険料	社会保険料
(途中省略)							
合計							

＜出力形式2＞

給料一覧表							
CO	社員名	等級	基本給	扶養手当	勤続手当	差引支給額	詳細
(途中省略)							
合計							

問題用紙

入力データを元に表を作成します。



問題用紙

表計算ソフトを使用して作成

計算処理

SUM関数

VLOOKUP関数

IF関数

グラフ作成

印刷

解答

給料データ計算表

CO	社員名	従業員数	査定	標準報酬月額	標準報酬月額	年金保険料	社会保険料
101	山田 一郎	2	75	410,000	410,000	24,600	43,600
102	鈴木 浩吉	1	95	440,000	440,000	26,640	47,640
103	佐々木 隆	1	55	320,000	320,000	19,200	34,800
104	長島 聖夫	2	85	410,000	410,000	24,600	43,600
105	小島 高樹	3	95	470,000	470,000	28,320	51,320
106	野村 誠一	2	65	380,000	380,000	23,040	42,040
107	森 加治子	0	70	300,000	300,000	18,000	33,000
108	加藤 達也	1	90	360,000	360,000	21,600	39,600
合計							

給料一覧表

CO	社員名	等級	基本給	扶養手当	勤続手当	差引支給額	詳細
101	山田 一郎	2	347,000	32,000	35,000	414,000	A
102	鈴木 浩吉	1	322,000	16,000	38,000	376,000	A
103	佐々木 隆	4	280,000	16,000	24,800	320,800	A
104	長島 聖夫	2	258,000	32,000	35,000	325,000	A
105	小島 高樹	1	410,000	48,000	42,000	500,000	A
106	野村 誠一	2	360,000	32,000	36,000	428,000	A
107	森 加治子	4	250,000	16,000	24,000	290,000	A
108	加藤 達也	3	322,000	16,000	24,000	362,000	A
合計							

社員別の差引支給額

解答を印刷します